

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 中央情報大学校
設置者名	学校法人 中央総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	高度 ICT デザイン学科	夜・通信	390	320	
	情報システム学科	夜・通信	300	160	
	クリエイティブデザイン学科	夜・通信	300	160	
	ポップカルチャー学科	夜・通信	300	160	
	ネット動画クリエイター学科	夜・通信	300	160	
	電気通信学科 (2年制)	夜・通信	300	160	
	電気通信学科 (電気工事士1年制)	夜・通信	300	80	
	電気通信学科 (電気主任技術者1年制)	夜・通信	300	80	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 <a href="https://www.chuo.ac.jp/cid/introduction/about#information">https://www.chuo.ac.jp/cid/introduction/about#information</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 中央情報大学校
設置者名	学校法人 中央総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人本部での閲覧にて公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 役員	R1.6.25 ～ R5.6.24	組織運営体制への チェック機能
非常勤	税理士	R1.6.25 ～ R5.6.24	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 中央情報大学校
設置者名	学校法人 中央総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>I. シラバス公表に係る取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 共通フォーマットを作成しシラバス作成の準備</li> <li>② 各教職員、非常勤講師へ依頼</li> <li>③ 1月末までに収集しまとめる</li> <li>④ カリキュラム検討委員会にて協議</li> <li>⑤ 完成後、学生配布とホームページでの公開 (4月学生入学時)</li> </ul> <p>II. シラバス内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① コマごとの授業内容の記載とその授業方法</li> <li>② 授業の到達目標</li> <li>③ 使用教材、器具</li> <li>④ 成績評価の方法と基準</li> <li>⑤ 履修に当たっての留意点</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.chuo.ac.jp/cid/introduction/about#information">https://www.chuo.ac.jp/cid/introduction/about#information</a>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

I. 学習意欲の把握

授業での発言や問題に対する回答、予習復習を行っているかなど、学生の受講態度を確認し学習意欲を測っている。

II. 成績評価等

小テストの定期的な実施や、課題に対する作品制作とその発表などで、習熟度を測ると共に授業評価の指標としている。

- ① 成績評定試験得点
- ② 出席率（出席率が70%に満たない場合は評定をDとする）
- ③ 各教科で行う試験。小テスト
- ④ 実習のある科目についてはその能力
- ⑤ 授業態度

各科目の評定は上位よりS、A、B、C、DとしてD評定は不合格とし、履修は認められない

尚、S～Dの評定は下記の点数で区分する

S評定・・・100～86点

A評定・・・85～71点

B評定・・・70～56点

C評定・・・55～41点

D評定・・・40～0点

III. 遅刻、早退等による欠席扱い

欠席届を提出しない無断欠席が1回以上、もしくは届出欠席が3回を超えた場合は、履修を認定しない。遅刻・早退は3回で欠席1回に換算する。30分以上遅刻した場合は欠席とする。授業中無断で退室した場合も欠席とする。

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標として、評定平均を設定する。</p> <p>【評定平均の求め方】</p> <p>①科目評定を以下に換算（以後、評定換算値という）</p> <p style="padding-left: 40px;">S = 4、A = 3、B = 2、C = 1、D = 0</p> <p>②評定平均の計算式</p> $\text{評定平均} = \frac{\text{科目ごとの評定換算値を合計}}{\text{科目数}}$ <p>③（成績判定会議で成績評価が確定後、評定平均を求め、）成績の分布状況を把握する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公開 <a href="https://www.chuo.ac.jp/cid/introduction/about#information">https://www.chuo.ac.jp/cid/introduction/about#information</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>I. 進級基準について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次終了時点で 720 時間（24 単位）以上履修認定</li> <li>・2年次終了時点で 1,650 時間（55 単位）以上履修認定</li> <li>・3年次終了時点で 2,580 時間（86 単位）以上履修認定</li> </ul> <p>II. 卒業基準は下記①～③の基準を全て満たした者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①. 1年制は 960 時間（32 単位）以上履修認定</li> <li>①. 2年制は 1,860 時間（62 単位）以上履修認定</li> <li>①. 4年制は 3,720 時間（124 単位）以上履修認定</li> <li>②. 必修科目全ての履修認定</li> <li>③. 卒業研究の履修認定</li> </ul>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページにて公開 <a href="https://www.chuo.ac.jp/cid/introduction/about#information">https://www.chuo.ac.jp/cid/introduction/about#information</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 中央情報大学校
設置者名	学校法人 中央総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://chuo.ac.jp/about#information">https://chuo.ac.jp/about#information</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://chuo.ac.jp/about#information">https://chuo.ac.jp/about#information</a>
財産目録	学園本部窓口にて閲覧
事業報告書	学園本部窓口にて閲覧
監事による監査報告（書）	学園本部窓口にて閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	高度 ICT デザイン学科	-	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,720 単位時間	2,380 単位時間	420 単位時間	2,160 単位時間	420 単位時間	0 単位時間
			5,310 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		103人	0人	2人	9人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
<p>I. シラバス公表に係る取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 共通フォーマットを作成しシラバス作成の準備</li> <li>② 各教職員、非常勤講師へ依頼</li> <li>③ 1月末までに収集しまとめる</li> <li>④ カリキュラム検討委員会にて協議</li> <li>⑤ 完成後、学生配布とホームページでの公開（4月学生入学時）</li> </ul> <p>II. シラバス内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① コマごとの授業内容の記載とその授業方法</li> <li>② 授業の到達目標</li> <li>③ 使用教材、器具</li> <li>④ 成績評価の方法と基準</li> <li>⑤ 履修に当たっての留意点</li> </ul>

## 成績評価の基準・方法

(概要)

### I. 学習意欲の把握

授業での発言や問題に対する回答、予習復習を行っているかなど、学生の受講態度を確認し学習意欲を測っている。

### II. 成績評価等

小テストの定期的な実施や、課題に対する作品制作とその発表などで、習熟度を測ると共に授業評価の指標としている。

- ① 成績評定試験得点
- ② 出席率（出席率が70%に満たない場合は評定をDとする）
- ③ 各教科で行う試験。小テスト
- ④ 実習のある科目についてはその能力
- ⑤ 授業態度

各科目の評定は上位よりS、A、B、C、DとしてD評定は不合格とし、履修は認められない

尚、S～Dの評定は下記の点数で区分する

S評定・・・100～86点

A評定・・・85～71点

B評定・・・70～56点

C評定・・・55～41点

D評定・・・40～0点

### III. 遅刻、早退等による欠席扱い

欠席届を提出しない無断欠席が1回以上、もしくは届出欠席が3回を超えた場合は、履修を認定しない。遅刻・早退は3回で欠席1回に換算する。30分以上遅刻した場合は欠席とする。授業中無断で退室した場合も欠席とする。

## 卒業・進級の認定基準

(概要)

### I. 進級基準について

- ・1年次終了時点で720時間（24単位）以上履修認定
- ・2年次終了時点で1,650時間（55単位）以上履修認定
- ・3年次終了時点で2,580時間（86単位）以上履修認定

### II. 卒業基準は下記①～③の基準を全て満たした者

- ①. 1年制は960時間（32単位）以上履修認定
- ①. 2年制は1,860時間（62単位）以上履修認定
- ①. 4年制は3,720時間（124単位）以上履修認定
- ②. 必修科目全ての履修認定
- ③. 卒業研究の履修認定

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>担任及び担任外の講師により随時、学生との個別面談を行い指導している。 また、下記のセンター、制度を活用し、様々な指導を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活安全センター：学生ならびに学校周辺の安全確保のため専属のセンター職員を配置し、様々なトラブルの相談やアドバイスをを行う。</li> <li>・就職指導センター：就職指導、就職相談、求人情報を公開する場として常設。専属のセンター職員を配置し、きめ細やかな指導を行う。</li> <li>・チューター制度：担当教員の推薦を得た学生による、空き時間における教員助手、学習指導補助を行う制度。</li> </ul>
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	19人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ソフトウェア開発、Web開発、運用保守、ネットワーク構築 等			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任と就職指導センター職員による面接指導や履歴書の書き方指導。</li> <li>・就職相談、カウンセリングなどの個別相談にも対応。</li> <li>・就職スタートアップ講座、学校主催合同企業ガイダンス等の実施</li> </ul>			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用情報技術者試験 3名合格</li> <li>・基本情報技術者試験 8名合格</li> <li>・情報セキュリティマネジメント試験 3名合格</li> <li>・3次元CAD利用技術者試験1級 1名合格</li> </ul>			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
個人面談、クラスアンケートにより学生とコミュニケーションを取り、随時対応している。		



分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	情報システム学科	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間	1,380 単位時間	240 単位時間	1,530 単位時間	240 単位時間	0 単位時間
			3,390 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
200人	197人	0人	6人	3人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>I. シラバス公表に係る取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 共通フォーマットを作成しシラバス作成の準備</li> <li>② 各教職員、非常勤講師へ依頼</li> <li>③ 1月末までに収集しまとめる</li> <li>④ カリキュラム検討委員会にて協議</li> <li>⑤ 完成後、学生配布とホームページでの公開（4月学生入学時）</li> </ol> <p>II. シラバス内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① コマごとの授業内容の記載とその授業方法</li> <li>② 授業の到達目標</li> <li>③ 使用教材、器具</li> <li>④ 成績評価の方法と基準</li> <li>⑤ 履修に当たっての留意点</li> </ol>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>I. 学習意欲の把握</p> <p>授業での発言や問題に対する回答、予習復習を行っているかなど、学生の受講態度を確認し学習意欲を測っている。</p> <p>II. 成績評価等</p> <p>小テストの定期的な実施や、課題に対する作品制作とその発表などで、習熟度を測ると共に授業評価の指標としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 成績評定試験得点</li> <li>② 出席率（出席率が70%に満たない場合は評定をDとする）</li> <li>③ 各教科で行う試験。小テスト</li> <li>④ 実習のある科目についてはその能力</li> <li>⑤ 授業態度</li> </ol> <p>各科目の評定は上位よりS、A、B、C、DとしてD評定は不合格とし、履修は認められない 尚、S～Dの評定は下記の点数で区分する</p>

- S 評定・・・100～86 点
- A 評定・・・ 85～71 点
- B 評定・・・ 70～56 点
- C 評定・・・ 55～41 点
- D 評定・・・ 40～ 0 点

### Ⅲ. 遅刻、早退等による欠席扱い

欠席届を提出しない無断欠席が 1 回以上、もしくは届出欠席が 3 回を超えた場合は、履修を認定しない。遅刻・早退は 3 回で欠席 1 回に換算する。30 分以上遅刻した場合は欠席とする。授業中無断で退室した場合も欠席とする。

### 卒業・進級の認定基準

(概要)

#### I. 進級基準について

- ・1 年次終了時点で 720 時間 (24 単位) 以上履修認定
- ・2 年次終了時点で 1,650 時間 (55 単位) 以上履修認定
- ・3 年次終了時点で 2,580 時間 (86 単位) 以上履修認定

#### II. 卒業基準は下記①～③の基準を全て満たした者

- ①. 1 年制は 960 時間 (32 単位) 以上履修認定
- ①. 2 年制は 1,860 時間 (62 単位) 以上履修認定
- ①. 4 年制は 3,720 時間 (124 単位) 以上履修認定
- ②. 必修科目全ての履修認定
- ③. 卒業研究の履修認定

### 学修支援等

(概要)

担任及び担任外の講師により随時、学生との個別面談を行い指導している。

また、下記のセンター、制度を活用し、様々な指導を行っている。

- ・生活安全センター：学生ならびに学校周辺の安全確保のため専属のセンター職員を配置し、様々なトラブルの相談やアドバイスをを行う。
- ・就職指導センター：就職指導、就職相談、求人情報を公開する場として常設。専属のセンター職員を配置し、きめ細やかな指導を行う。
- ・チューター制度：担当教員の推薦を得た学生による、空き時間における教員助手、学習指導補助を行う制度。

### 卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
48人 (100%)	1人 (2.1%)	47人 (97.9%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等)

ソフトウェア開発、Web 開発、運用保守、ネットワーク構築 等

(就職指導内容)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任と就職指導センター職員による面接指導や履歴書の書き方指導。</li> <li>・就職相談、カウンセリングなどの個別相談にも対応。</li> <li>・就職スタートアップ講座、学校主催合同企業ガイダンス等の実施</li> </ul>
(主な学修成果 (資格・検定等) )
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本情報技術者試験 10名合格</li> <li>・Oracle Java Silver 10名</li> <li>・Oracle Java Bronze 34名</li> </ul>
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
143人	11人	7.7%
(中途退学の主な理由) 学力不振、進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、クラスアンケートにより学生とコミュニケーションを取り、随時対応している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	クリエイティブデザイン学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間	1,200 単位時間	240 単位時間	1,710 単位時間	90 単位時間	0 単位時間
	夜		3,240 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		58人	0人	3人	8人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
I. シラバス公表に係る取り組み
① 共通フォーマットを作成しシラバス作成の準備
② 各教職員、非常勤講師へ依頼
③ 1月末までに収集しまとめる
④ カリキュラム検討委員会にて協議
⑤ 完成後、学生配布とホームページでの公開 (4月学生入学時)

<p>II. シラバス内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① コマごとの授業内容の記載とその授業方法</li> <li>② 授業の到達目標</li> <li>③ 使用教材、器具</li> <li>④ 成績評価の方法と基準</li> <li>⑤ 履修に当たっての留意点</li> </ol>
<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>(概要)</p> <p>I. 学習意欲の把握</p> <p>授業での発言や問題に対する回答、予習復習を行っているかなど、学生の受講態度を確認し学習意欲を測っている。</p> <p>II. 成績評価等</p> <p>小テストの定期的な実施や、課題に対する作品制作とその発表などで、習熟度を測ると共に授業評価の指標としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 成績評定試験得点</li> <li>② 出席率（出席率が70%に満たない場合は評定をDとする）</li> <li>③ 各教科で行う試験。小テスト</li> <li>④ 実習のある科目についてはその能力</li> <li>⑤ 授業態度</li> </ol> <p>各科目の評定は上位よりS、A、B、C、DとしてD評定は不合格とし、履修は認められない 尚、S～Dの評定は下記の点数で区分する</p> <p>S評定・・・100～86点 A評定・・・85～71点 B評定・・・70～56点 C評定・・・55～41点 D評定・・・40～0点</p> <p>III. 遅刻、早退等による欠席扱い</p> <p>欠席届を提出しない無断欠席が1回以上、もしくは届出欠席が3回を超えた場合は、履修を認定しない。遅刻・早退は3回で欠席1回に換算する。30分以上遅刻した場合は欠席とする。授業中無断で退室した場合も欠席とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>I. 進級基準について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次終了時点で720時間（24単位）以上履修認定</li> <li>・2年次終了時点で1,650時間（55単位）以上履修認定</li> <li>・3年次終了時点で2,580時間（86単位）以上履修認定</li> </ul> <p>II. 卒業基準は下記①～③の基準を全て満たした者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①. 1年制は960時間（32単位）以上履修認定</li> <li>①. 2年制は1,860時間（62単位）以上履修認定</li> </ol>

<ul style="list-style-type: none"> <li>①. 4年制は3,720時間（124単位）以上履修認定</li> <li>②. 必修科目全ての履修認定</li> <li>③. 卒業研究の履修認定</li> </ul>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>担任及び担任外の講師により随時、学生との個別面談を行い指導している。 また、下記のセンター、制度を活用し、様々な指導を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活安全センター：学生ならびに学校周辺の安全確保のため専属のセンター職員を配置し、様々なトラブルの相談やアドバイスをを行う。</li> <li>・就職指導センター：就職指導、就職相談、求人情報を公開する場として常設。専属のセンター職員を配置し、きめ細やかな指導を行う。</li> <li>・チューター制度：担当教員の推薦を得た学生による、空き時間における教員助手、学習指導補助を行う制度。</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	13人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 印刷、広告、映像、製造 等			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任と就職指導センター職員による面接指導や履歴書の書き方指導。</li> <li>・就職相談、カウンセリングなどの個別相談にも対応。</li> <li>・就職スタートアップ講座、学校主催合同企業ガイダンス等の実施</li> </ul>			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Illustrator 検定スタンダード 14名合格</li> <li>・Illustrator 検定エキスパート 4名合格</li> <li>・Photoshop 検定スタンダード 10名合格</li> <li>・色彩検定 12名合格</li> </ul>			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	1人	2.5%

(中途退学の主な理由) 進路変更のため
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、クラスアンケートにより学生とコミュニケーションを取り、随時対応している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ポップカルチャー 学科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間	1,280 単位時間	240 単位時間	1,690 単位時間	90 単位時間	0 単位時間
			3,300 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		64人	0人	4人	3人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) I. シラバス公表に係る取り組み ① 共通フォーマットを作成しシラバス作成の準備 ② 各教職員、非常勤講師へ依頼 ③ 1月末までに収集しまとめる ④ カリキュラム検討委員会にて協議 ⑤ 完成後、学生配布とホームページでの公開 (4月学生入学時)  II. シラバス内容 ① コマごとの授業内容の記載とその授業方法 ② 授業の到達目標 ③ 使用教材、器具 ④ 成績評価の方法と基準 ⑤ 履修に当たっての留意点
成績評価の基準・方法
(概要) I. 学習意欲の把握 授業での発言や問題に対する回答、予習復習を行っているかなど、学生の受講態度を確認し学習意欲を測っている。  II. 成績評価等 小テストの定期的な実施や、課題に対する作品制作とその発表などで、習熟

度を測ると共に授業評価の指標としている。

- ① 成績評定試験得点
- ② 出席率（出席率が70%に満たない場合は評定をDとする）
- ③ 各教科で行う試験。小テスト
- ④ 実習のある科目についてはその能力
- ⑤ 授業態度

各科目の評定は上位よりS、A、B、C、DとしてD評定は不合格とし、履修は認められない

尚、S～Dの評定は下記の点数で区分する

- S評定・・・100～86点
- A評定・・・85～71点
- B評定・・・70～56点
- C評定・・・55～41点
- D評定・・・40～0点

### Ⅲ. 遅刻、早退等による欠席扱い

欠席届を提出しない無断欠席が1回以上、もしくは届出欠席が3回を超えた場合は、履修を認定しない。遅刻・早退は3回で欠席1回に換算する。30分以上遅刻した場合は欠席とする。授業中無断で退室した場合も欠席とする。

## 卒業・進級の認定基準

（概要）

### I. 進級基準について

- ・1年次終了時点で720時間（24単位）以上履修認定
- ・2年次終了時点で1,650時間（55単位）以上履修認定
- ・3年次終了時点で2,580時間（86単位）以上履修認定

### II. 卒業基準は下記①～③の基準を全て満たした者

- ①. 1年制は960時間（32単位）以上履修認定
- ①. 2年制は1,860時間（62単位）以上履修認定
- ①. 4年制は3,720時間（124単位）以上履修認定
- ②. 必修科目全ての履修認定
- ③. 卒業研究の履修認定

## 学修支援等

（概要）

担任及び担任外の講師により随時、学生との個別面談を行い指導している。また、下記のセンター、制度を活用し、様々な指導を行っている。

- ・生活安全センター：学生ならびに学校周辺の安全確保のため専属のセンター職員を配置し、様々なトラブルの相談やアドバイスを行う。
- ・就職指導センター：就職指導、就職相談、求人情報を公開する場として常設。専属のセンター職員を配置し、きめ細やかな指導を行う。
- ・チューター制度：担当教員の推薦を得た学生による、空き時間における教員助手、学習指導補助を行う制度。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	20人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 映像、アニメーション、CG、デザイン 等			
(就職指導内容) ・担任と就職指導センター職員による面接指導や履歴書の書き方指導。 ・就職相談、カウンセリングなどの個別相談にも対応。 ・就職スタートアップ講座、学校主催合同企業ガイダンス等の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・Illustrator 検定スタンダード 15名合格 ・Photoshop 検定スタンダード 9名合格 ・色彩検定 14名合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、クラスアンケートにより学生とコミュニケーションを取り、随時対応している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	ネット動画クリエイター クリエイター学科	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼夜	1,860 単位時間	1,280 単位時間	240 単位時間	1,510 単位時間	90 単位時間	0 単位時間
	昼		3,120 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	9人	0人	1人	1人	2人		



<p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）</p> <p>（概要）</p> <p>I. シラバス公表に係る取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 共通フォーマットを作成しシラバス作成の準備</li> <li>② 各教職員、非常勤講師へ依頼</li> <li>③ 1月末までに収集しまとめる</li> <li>④ カリキュラム検討委員会にて協議</li> <li>⑤ 完成後、学生配布とホームページでの公開（4月学生入学時）</li> </ol> <p>II. シラバス内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① コマごとの授業内容の記載とその授業方法</li> <li>② 授業の到達目標</li> <li>③ 使用教材、器具</li> <li>④ 成績評価の方法と基準</li> <li>⑤ 履修に当たっての留意点</li> </ol>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>I. 学習意欲の把握</p> <p>授業での発言や問題に対するの回答、予習復習を行っているかなど、学生の受講態度を確認し学習意欲を測っている。</p> <p>II. 成績評価等</p> <p>小テストの定期的な実施や、課題に対する作品制作とその発表などで、習熟度を測ると共に授業評価の指標としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 成績評定試験得点</li> <li>② 出席率（出席率が70%に満たない場合は評定をDとする）</li> <li>③ 各教科で行う試験。小テスト</li> <li>④ 実習のある科目についてはその能力</li> <li>⑤ 授業態度</li> </ol> <p>各科目の評定は上位よりS、A、B、C、DとしてD評定は不合格とし、履修は認められない</p> <p>尚、S～Dの評定は下記の点数で区分する</p> <p>S評定・・・100～86点</p> <p>A評定・・・85～71点</p> <p>B評定・・・70～56点</p> <p>C評定・・・55～41点</p> <p>D評定・・・40～0点</p> <p>III. 遅刻、早退等による欠席扱い</p> <p>欠席届を提出しない無断欠席が1回以上、もしくは届出欠席が3回を超えた場合は、履修を認定しない。遅刻・早退は3回で欠席1回に換算する。30分以上遅刻した場合は欠席とする。授業中無断で退室した場合も欠席とする。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>I. 進級基準について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次終了時点で 720 時間 (24 単位) 以上履修認定</li> <li>・2年次終了時点で 1,650 時間 (55 単位) 以上履修認定</li> <li>・3年次終了時点で 2,580 時間 (86 単位) 以上履修認定</li> </ul> <p>II. 卒業基準は下記①～③の基準を全て満たした者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①. 1年制は 960 時間 (32 単位) 以上履修認定</li> <li>①. 2年制は 1,860 時間 (62 単位) 以上履修認定</li> <li>①. 4年制は 3,720 時間 (124 単位) 以上履修認定</li> <li>②. 必修科目全ての履修認定</li> <li>③. 卒業研究の履修認定</li> </ul>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>担任及び担任外の講師により随時、学生との個別面談を行い指導している。 また、下記のセンター、制度を活用し、様々な指導を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活安全センター：学生ならびに学校周辺の安全確保のため専属のセンター職員を配置し、様々なトラブルの相談やアドバイスをを行う。</li> <li>・就職指導センター：就職指導、就職相談、求人情報を公開する場として常設。専属のセンター職員を配置し、きめ細やかな指導を行う。</li> <li>・チューター制度：担当教員の推薦を得た学生による、空き時間における教員助手、学習指導補助を行う制度。</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 2022年4月に開設した学科のため就職実績はない			
(就職指導内容) ・担任と就職指導センター職員による面接指導や履歴書の書き方指導。 ・就職相談、カウンセリングなどの個別相談にも対応。 ・就職スタートアップ講座、学校主催合同企業ガイダンス等の実施			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 2022年4月に開設した学科のため検定等の実績はない			
(備考) (任意記載事項) 2022年4月に開設した学科のため卒業生はいない			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、クラスアンケートにより学生とコミュニケーションを取り、随時対応している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	電気通信学科 (2年制)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間	1,480 単位時間	240 単位時間	1,070 単位時間	60 単位時間	0 単位時間
			2,850 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		40人	0人	2人	7人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要)	
I. シラバス公表に係る取り組み	
① 共通フォーマットを作成しシラバス作成の準備	
② 各教職員、非常勤講師へ依頼	
③ 1月末までに収集しまとめる	
④ カリキュラム検討委員会にて協議	
⑤ 完成後、学生配布とホームページでの公開 (4月学生入学時)	
II. シラバス内容	
① コマごとの授業内容の記載とその授業方法	
② 授業の到達目標	
③ 使用教材、器具	
④ 成績評価の方法と基準	
⑤ 履修に当たっての留意点	
成績評価の基準・方法	
(概要)	
I. 学習意欲の把握	

授業での発言や問題に対する回答、予習復習を行っているかなど、学生の受講態度を確認し学習意欲を測っている。

## II. 成績評価等

小テストの定期的な実施や、課題に対する作品制作とその発表などで、習熟度を測ると共に授業評価の指標としている。

- ① 成績評定試験得点
- ② 出席率（出席率が70%に満たない場合は評定をDとする）
- ③ 各教科で行う試験。小テスト
- ④ 実習のある科目についてはその能力
- ⑤ 授業態度

各科目の評定は上位よりS、A、B、C、DとしてD評定は不合格とし、履修は認められない

尚、S～Dの評定は下記の点数で区分する

- S評定・・・100～86点  
A評定・・・85～71点  
B評定・・・70～56点  
C評定・・・55～41点  
D評定・・・40～0点

## III. 遅刻、早退等による欠席扱い

欠席届を提出しない無断欠席が1回以上、もしくは届出欠席が3回を超えた場合は、履修を認定しない。遅刻・早退は3回で欠席1回に換算する。30分以上遅刻した場合は欠席とする。授業中無断で退室した場合も欠席とする。

## 卒業・進級の認定基準

(概要)

### I. 進級基準について

- ・1年次終了時点で720時間(24単位)以上履修認定
- ・2年次終了時点で1,650時間(55単位)以上履修認定
- ・3年次終了時点で2,580時間(86単位)以上履修認定

### II. 卒業基準は下記①～③の基準を全て満たした者

- ①. 1年制は960時間(32単位)以上履修認定
- ①. 2年制は1,860時間(62単位)以上履修認定
- ①. 4年制は3,720時間(124単位)以上履修認定
- ②. 必修科目全ての履修認定
- ③. 卒業研究の履修認定

## 学修支援等

(概要)

担任及び担任外の講師により随時、学生との個別面談を行い指導している。また、下記のセンター、制度を活用し、様々な指導を行っている。

- ・生活安全センター：学生ならびに学校周辺の安全確保のため専属のセンター職員を配置し、様々なトラブルの相談やアドバイスを行う。
- ・就職指導センター：就職指導、就職相談、求人情報を公開する場として常設。

専属のセンター職員を配置し、きめ細やかな指導を行う。 ・チューター制度：担当教員の推薦を得た学生による、空き時間における 教員助手、学習指導補助を行う制度。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 （100%）	0人 （0%）	7人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） 電気工事、電気保守業務、電気施工管理 等			
（就職指導内容） ・担任と就職指導センター職員による面接指導や履歴書の書き方指導。 ・就職相談、カウンセリングなどの個別相談にも対応。 ・就職スタートアップ講座、学校主催合同企業ガイダンス等の実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・経済産業省 エネルギー管理士 1名合格 ・経済産業省 第三種電気主任技術者 1名合格 ・経済産業省 第一種電気工事士 6名合格 ・経済産業省 第二種電気工事士 7名合格 ・総務省 工事担任者総合通信 1名合格 ・総務省 消防設備士 甲種第4類 4名合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、クラスアンケートにより学生とコミュニケーションを取り、随時対応している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	電気通信学科 （電気工事士1年制）	-	-

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	960 単位時間	1,340 単位時間	240 単位時間	970 単位時間	60 単位時間	0 単位時間
			2,610 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5人の内数		0人	0人	2人	7人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>I. シラバス公表に係る取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 共通フォーマットを作成しシラバス作成の準備</li> <li>② 各教職員、非常勤講師へ依頼</li> <li>③ 1月末までに収集しまとめる</li> <li>④ カリキュラム検討委員会にて協議</li> <li>⑤ 完成後、学生配布とホームページでの公開 (4月学生入学時)</li> </ol> <p>II. シラバス内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① コマごとの授業内容の記載とその授業方法</li> <li>② 授業の到達目標</li> <li>③ 使用教材、器具</li> <li>④ 成績評価の方法と基準</li> <li>⑤ 履修に当たっての留意点</li> </ol>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>I. 学習意欲の把握</p> <p>授業での発言や問題に対する回答、予習復習を行っているかなど、学生の受講態度を確認し学習意欲を測っている。</p> <p>II. 成績評価等</p> <p>小テストの定期的な実施や、課題に対する作品制作とその発表などで、習熟度を測ると共に授業評価の指標としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 成績評定試験得点</li> <li>② 出席率 (出席率が70%に満たない場合は評定をDとする)</li> <li>③ 各教科で行う試験。小テスト</li> <li>④ 実習のある科目についてはその能力</li> <li>⑤ 授業態度</li> </ol> <p>各科目の評定は上位よりS、A、B、C、DとしてD評定は不合格とし、履修は認められない 尚、S~Dの評定は下記の点数で区分する S 評定・・・100~86点 A 評定・・・85~71点 B 評定・・・70~56点</p>

C 評定・・・ 55～41 点  
D 評定・・・ 40～ 0 点

### Ⅲ. 遅刻、早退等による欠席扱い

欠席届を提出しない無断欠席が 1 回以上、もしくは届出欠席が 3 回を超えた場合は、履修を認定しない。遅刻・早退は 3 回で欠席 1 回に換算する。30 分以上遅刻した場合は欠席とする。授業中無断で退室した場合も欠席とする。

### 卒業・進級の認定基準

(概要)

#### I. 進級基準について

- ・ 1 年次終了時点で 720 時間 (24 単位) 以上履修認定
- ・ 2 年次終了時点で 1,650 時間 (55 単位) 以上履修認定
- ・ 3 年次終了時点で 2,580 時間 (86 単位) 以上履修認定

#### II. 卒業基準は下記①～③の基準を全て満たした者

- ①. 1 年制は 960 時間 (32 単位) 以上履修認定
- ①. 2 年制は 1,860 時間 (62 単位) 以上履修認定
- ①. 4 年制は 3,720 時間 (124 単位) 以上履修認定
- ②. 必修科目全ての履修認定
- ③. 卒業研究の履修認定

### 学修支援等

(概要)

担任及び担任外の講師により随時、学生との個別面談を行い指導している。

また、下記のセンター、制度を活用し、様々な指導を行っている。

- ・生活安全センター：学生ならびに学校周辺の安全確保のため専属のセンター職員を配置し、様々なトラブルの相談やアドバイスをを行う。
- ・就職指導センター：就職指導、就職相談、求人情報を公開する場として常設。専属のセンター職員を配置し、きめ細やかな指導を行う。
- ・チューター制度：担当教員の推薦を得た学生による、空き時間における教員助手、学習指導補助を行う制度。

### 卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1 人 (100%)	0 人 (0%)	1 人 (100%)	0 人 (0%)

(主な就職、業界等)

就職先は電気工事会社

(就職指導内容)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任と就職指導センター職員による面接指導や履歴書の書き方指導。</li> <li>・就職相談、カウンセリングなどの個別相談にも対応。</li> <li>・就職スタートアップ講座、学校主催合同企業ガイダンス等の実施</li> </ul>
(主な学修成果 (資格・検定等) )
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済産業省 第一種電気工事士 1名合格</li> <li>・2級電気工事施工管理技士補 学科試験 1名合格</li> <li>・工事担任者 第二級デジタル通信 1名合格</li> <li>・危険物取扱者 甲種4類 1名合格</li> </ul>
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、クラスアンケートにより学生とコミュニケーションを取り、随時対応している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	電気通信学科 (電気主任技術者1年制)	-	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	960 単位時間	1,370 単位時間	240 単位時間	970 単位時間	60 単位時間	0 単位時間
			2,610 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
5人の内数	1人	0人	2人	7人	9人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
I. シラバス公表に係る取り組み
① 共通フォーマットを作成しシラバス作成の準備
② 各教職員、非常勤講師へ依頼
③ 1月末までに収集しまとめる
④ カリキュラム検討委員会にて協議



- ⑤ 完成後、学生配布とホームページでの公開（4月学生入学時）

## II. シラバス内容

- ① コマごとの授業内容の記載とその授業方法
- ② 授業の到達目標
- ③ 使用教材、器具
- ④ 成績評価の方法と基準
- ⑤ 履修に当たっての留意点

## 成績評価の基準・方法

### (概要)

### I. 学習意欲の把握

授業での発言や問題に対する回答、予習復習を行っているかなど、学生の受講態度を確認し学習意欲を測っている。

### II. 成績評価等

小テストの定期的な実施や、課題に対する作品制作とその発表などで、習熟度を測ると共に授業評価の指標としている。

- ① 成績評定試験得点
- ② 出席率（出席率が70%に満たない場合は評定をDとする）
- ③ 各教科で行う試験。小テスト
- ④ 実習のある科目についてはその能力
- ⑤ 授業態度

各科目の評定は上位よりS、A、B、C、DとしてD評定は不合格とし、履修は認められない

尚、S～Dの評定は下記の点数で区分する

- S 評定・・・100～86 点  
A 評定・・・ 85～71 点  
B 評定・・・ 70～56 点  
C 評定・・・ 55～41 点  
D 評定・・・ 40～ 0 点

### III. 遅刻、早退等による欠席扱い

欠席届を提出しない無断欠席が1回以上、もしくは届出欠席が3回を超えた場合は、履修を認定しない。遅刻・早退は3回で欠席1回に換算する。30分以上遅刻した場合は欠席とする。授業中無断で退室した場合も欠席とする。

## 卒業・進級の認定基準

### (概要)

### I. 進級基準について

- ・1年次終了時点で 720 時間（24 単位）以上履修認定
- ・2年次終了時点で 1,650 時間（55 単位）以上履修認定
- ・3年次終了時点で 2,580 時間（86 単位）以上履修認定

- II. 卒業基準は下記①～③の基準を全て満たした者
- ①. 1年制は 960 時間 (32 単位) 以上履修認定
  - ①. 2年制は 1,860 時間 (62 単位) 以上履修認定
  - ①. 4年制は 3,720 時間 (124 単位) 以上履修認定
  - ②. 必修科目全ての履修認定
  - ③. 卒業研究の履修認定

学修支援等

(概要)

担任及び担任外の講師により随時、学生との個別面談を行い指導している。

また、下記のセンター、制度を活用し、様々な指導を行っている。

- ・生活安全センター：学生ならびに学校周辺の安全確保のため専属のセンター職員を配置し、様々なトラブルの相談やアドバイスをを行う。
- ・就職指導センター：就職指導、就職相談、求人情報を公開する場として常設。専属のセンター職員を配置し、きめ細やかな指導を行う。
- ・チューター制度：担当教員の推薦を得た学生による、空き時間における教員助手、学習指導補助を行う制度。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	1人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 就職先は電気工事会社			
(就職指導内容) ・担任と就職指導センター職員による面接指導や履歴書の書き方指導。 ・就職相談、カウンセリングなどの個別相談にも対応。 ・就職スタートアップ講座、学校主催合同企業ガイダンス等の実施			
(主な学修成果 (資格・検定等) ) ・2級電気工事施工管理技士補 学科試験 1名合格 ・工事担任者 第二級デジタル通信 1名合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、クラスアンケートにより学生とコミュニケーションを取り、随時対応している。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載 事項)
高度 ICT デザイン学科	100,000 円	580,000 円	380,000 円	
情報システム学科	100,000 円	580,000 円	380,000 円	
クリエイティブデザイン学科	100,000 円	580,000 円	420,000 円	
ポップカルチャー学科	100,000 円	580,000 円	420,000 円	
ネット動画クリエイター学科	100,000 円	580,000 円	420,000 円	
電気通信学科 (2 年制・1 年制)	100,000 円	580,000 円	460,000 円	
電気通信学科 (電気主任技術者 1 年制)	100,000 円	500,000 円	280,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.chuo.ac.jp/cid/introduction/about#information">https://www.chuo.ac.jp/cid/introduction/about#information</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
自己評価を行い、その結果の公表・説明を保護者や業界関係者等の学校関係者に行うことで、適切に説明責任を果たす。保護者や地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。 学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
日本パソコム株式会社	2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	業界団体関係者

株式会社 CRI 中央総研	2022年4月1日～ 2023年3月31日	業界団体関係者
中央キャリアネット株式会社	2022年4月1日～ 2023年3月31日	業界団体関係者
東京理器株式会社	2022年4月1日～ 2023年3月31日	業界団体関係者
クシダ工業株式会社	2022年4月1日～ 2023年3月31日	業界団体関係者
中央情報大学校 同窓会会長	2022年4月1日～ 2023年3月31日	卒業生
中央情報大学校 保護者会会長	2022年4月1日～ 2023年3月31日	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.chuo.ac.jp/cid/introduce/publicinfo">http://www.chuo.ac.jp/cid/introduce/publicinfo</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ : <a href="https://www.chuo.ac.jp/cid/">https://www.chuo.ac.jp/cid/</a> 学校ニュース表示媒体 : 学園新聞を年3回刊行し在校生の保護者ならびに卒業生に送付 <a href="https://chuo.ac.jp/magazine">https://chuo.ac.jp/magazine</a> でも入手可能
--